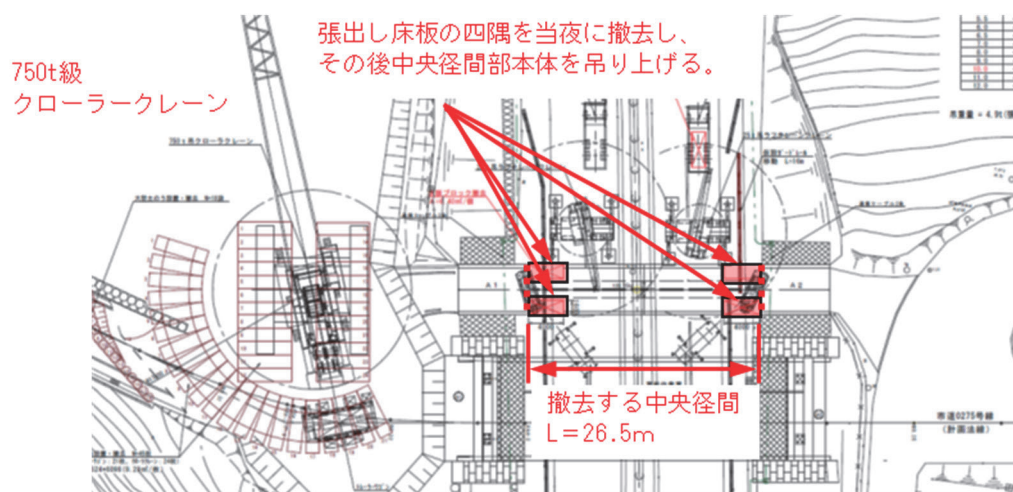


6. 夜間工事での東名高速道路跨道橋の一括撤去

One-night Batch Removing Work of Tomei Expressway Overbridge

山崎 雅史^{*1}



図ー1 当初計画撤去平面図



写真ー1 ワイヤソー切断面



写真ー2 1000t吊級クレーンでの一括撤去

□ 目的（工事概要）

本工事は、静岡県沼津市において、新東名高速道路駿河湾沼津インターチェンジへのアクセス道路でもある市道の整備に伴い、東名高速道路上に架かる跨道橋（PC π 型ラーメン橋 橋長 $L=42.5\text{m}$ ）の撤去を行う工事である。

東名高速道路の直上に当たる中央径間部は、東名高速道路を午後8時から翌朝6時まで夜間通行止めにし、大型クレーンを使用して一晩で撤去を行うものである。

□ 概要（課題とその対処）

当初設計では、中央径間部（ $L=26.5\text{m}$ ）の撤去は750t級クレーンを使用し、ワイヤーを胴巻きにした2点吊りで行う計画であった。また750t級クレーンで吊り上げ可能とするために、重量を軽減する目的で撤去する中央径間部の四隅の張出床版を当夜作業で切断撤去し、その後中央径間部本体を吊り上げる計画であった（図ー1）。

作業所では、撤去する桁の安全確保の点から吊り上げ方法の見直し、当夜作業量を軽減するための先行工事の実施、作業時間短縮（万が一のトラブル対応時間の確保）のための施工機械の大型化、などについて検討し実施した。

□ 結果

予めクレーンヤードで治具の吊桁の組立てを完了しておき、当夜には吊桁のセット、PC鋼棒による主桁との緊結を行った後、クレーンで吊った状態で主桁の切断を行った（写真ー1）。桁切断後、吊上げを行いクレーンヤードに主桁を荷降ろしして撤去を完了した。1000t吊級クレーンを使用しての一括撤去と先行作業によるタイムスケジュールの短縮により、予定終了時刻より1時間早く作業を終了することができた（写真ー2）。

^{*} 1 土木事業本部名古屋土木部（執筆時の所属）